学校番号	３０２２

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「世界史Ａ　新訂版」　（実教出版）						
副教材等	最新世界史図説　タペストリー　十八訂版　（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

２　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・現代の諸課題を近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点から考察することができる。
・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	定期考査 ワークシート レポート 授業に対する姿勢	定期考査 ワークシート レポート 授業に対する姿勢	定期考査 ワークシート レポート 授業に対する姿勢	定期考査 ワークシート レポート 授業に対する姿勢

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	世界史へのいざない	・自然環境と人類の歴史に関わる課題や日本の歴史と世界の歴史のつながり	○	○	○	○	a:自然環境と歴史、日本の歴史と世界の歴史のつながりにかかわる主題を意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。 b:設定された主題について、多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:設定した主題について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。	学習状況 ワークシート レポート 定期考査
	ユーラシアの諸文明の特質	・文明のはじまり ・西アジア世界、イスラーム世界 ・ヨーロッパ世界 ・南アジア世界、東南アジア世界 ・東アジア世界、内陸アジア世界	○	○	○	○	a:ユーラシア各地に形成された諸文明の特質に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:ユーラシア各地に形成された諸文明の特質について、今日の世界諸地域における社会・文化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:ユーラシア各地に形成された諸文明の特質に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:ユーラシア各地に形成された諸文明の特質についての基本的な事柄を今日の世界諸地域における社会・文化と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	学習状況 ワークシート レポート 定期考査

1学期	ユーラシアの交流	・海と陸の交流 ・モンゴル帝国と東西の交流 ・ヨーロッパ商業圏と東アジア海域の発展	○	○	○	○	a:8 世紀以降のユーラシアの海、陸における交流について、これらの地域間交流がのちの世界の一体化の前提となったことへの関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:8 世紀以降のユーラシアの海、陸における交流に特質を見いだし、それを支えた都市や港のネットワーク、地域世界相互の文化変容などと関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:8 世紀以降のユーラシアの海、陸における交流の特質に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:8 世紀以降のユーラシアの海、陸における交流の特質についての基本的な事柄を、地域世界相互の文化変容と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	学習状況 ワークシート レポート 定期考査
	一体化に向かう世界	・世界の一体化の第一歩 ・ルネサンスと宗教改革 ・ヨーロッパの主権国家体制	○	○	○	○	a:大航海時代におけるヨーロッパ人の海外進出、ルネサンスや宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 大航海時代におけるヨーロッパ人の海外進出、ルネサンスや宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立に特質を見いだし、世界商業の進展などと関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ｃ：大航海時代におけるヨーロッパ人の海外進出、ルネサンスや宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ｄ：大航海時代におけるヨーロッパ人の海外進出、ルネサンスや宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立についての基本的な事柄を、世界商業の進展などと関連付けて理解し、その知識を身につけている。	学習状況 ワークシート レポート 定期考査

2学期	アジアの繁栄と世界	・アジアの繁栄 ・世界経済体制の形成	○	○	○	○	a:アジアの諸帝国の繁栄、大西洋貿易の展開に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:アジアの諸帝国の繁栄、大西洋貿易の展開に特質を見いだし、ヨーロッパ諸国の進出と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:アジアの諸帝国の繁栄、大西洋貿易の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:アジアの諸帝国の繁栄、大西洋貿易の展開についての基本的な事柄を、これらの地域へのヨーロッパ諸国の進出と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	学習状況 ワークシート レポート 定期考査
2学期	19世紀の世界の一体化と日本	・産業革命と工業化社会の成立 ・アメリカ独立戦争 ・フランス革命とナポレオン戦争 ・ウィーン体制とその崩壊 ・ヨーロッパ国民国家の発展 ・アジア・アフリカ・ラテンアメリカの変動	○	○	○	○	a:18 世紀後期以降の西ヨーロッパとアメリカの諸革命と産業社会の成立、アジア諸国の内部で進行していた変化とヨーロッパの進出によるアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:18 世紀後期以降の西ヨーロッパとアメリカの諸革命と産業社会の成立、アジア諸国の内部で進行していた変化とヨーロッパの進出によるアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌に特質を見いだし、19 世紀の世界の一体化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:18 世紀後期以降の西ヨーロッパとアメリカの諸革命と産業社会の成立、アジア諸国の内部で進行していた変化とヨーロッパの進出によるアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:18 世紀後期以降の西ヨーロッパとアメリカの諸革命と産業社会の成立、アジア諸国の内部で進行していた変化とヨーロッパの進出によるアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌についての基本的な事柄を 19 世紀の世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	学習状況 ワークシート レポート 定期考査

2学期	二つの世界大戦	・激変する社会と帝国主義 ・第一次世界大戦とロシア革命 ・戦間期のヨーロッパとアメリカ ・民族運動の高まり ・第二次世界大戦	○	○	○	○	a:19 世紀末から 20 世紀初頭に欧米諸国や日本などにみられた社会の急激な変化と 20 世紀という時代の特質などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。また、第一次世界大戦と第二次世界大戦の原因や総力戦としての性格、それらが及ぼした影響と平和の意義などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:20 世紀という時代に 19 世紀までとは性格の異なる人類史的特質をみいだし、社会の急激な変化の具体的な様相と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。また、第一次世界大戦と第二次世界大戦の原因や総力戦としての性格について、それらが及ぼした影響と平和の意義などと関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:20 世紀という時代の人類史的特質、および第一次世界大戦と第二次世界大戦の原因や総力戦としての性格、両大戦の影響と平和の意義などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:20 世紀という時代の人類史的特質についての基本的な事柄を、社会の急激な変化の具体的な様相と関連付けて理解し、その知識を身につけている。また、第一次世界大戦と第二次世界大戦の原因や総力戦としての性格についての基本的な事柄を、両大戦の影響と平和の意義などと関連付けて理解し、その知識を身につけている。	学習状況 ワークシート レポート 定期考査

3学期	第二次世界大戦後の世界と日本	・冷たい戦争 ・アジア・アフリカ諸国の独立と混乱 ・多極化の進展と冷戦体制の崩壊	○	○	○	○	a:第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立、核兵器問題に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立、核兵器問題などに特質を見いだし、世界の政治・経済の動向と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立、核兵器問題などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立、核兵器問題などについての基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	学習状況 ワークシート レポート 定期考査
3学期	現代の世界	・統合へ向かうヨーロッパ ・旧ソ連・東ヨーロッパ諸国の動向 ・アメリカの戦争と世界同時不況 ・西アジアの混迷 ・南アジア・東南アジアの動き ・巨大化する中国と東アジアの変動	○	○	○	○	a:冷戦終結後の世界で起こった地域紛争の原因・背景、科学技術の人類への寄与と課題、人類の生存と環境、世界の平和と安全などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:冷戦終結後の世界で起こった地域紛争の原因・背景、科学技術の人類への寄与と課題などについて、人類の生存と環境、世界の平和と安全などの問題と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:冷戦終結後の世界で起こった地域紛争の原因・背景、科学技術の人類への寄与と課題などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:冷戦終結後の世界で起こった地域紛争の原因・背景、科学技術の人類への寄与と課題などについての基本的な事柄を、人類の生存と環境、世界の平和と安全の問題と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	学習状況 ワークシート レポート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。